

放射性物質汚染からの農業復興を目指して！ 【～元飯舘村職員が見た現実と未来】



浪江町での営農者への説明の様子

農林水産省所管法人

国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター

(前) 飯舘村復興対策課 万福 裕造

3つの災害

地震・津波・原子力発電所事故 3つが影響している難しい災害



派遣されてからこれまで・・・

H23年度 5 月 農林水産省 技術会議事務局にて

放射性物質除去の技術開発を担当

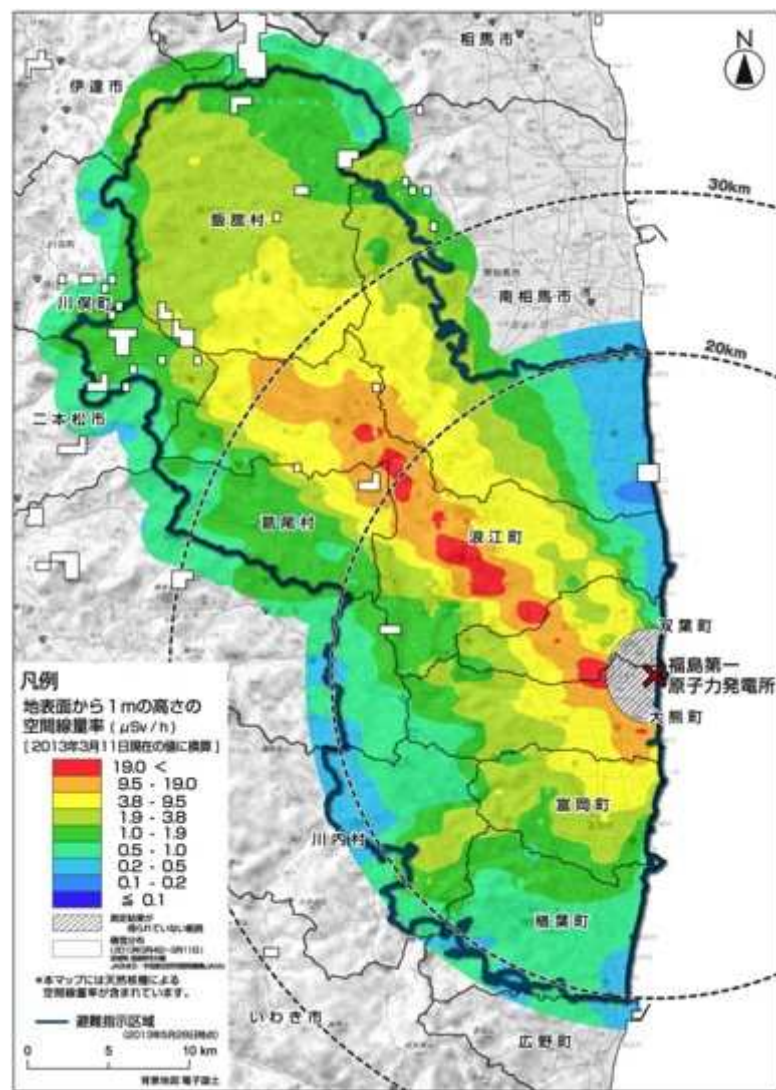
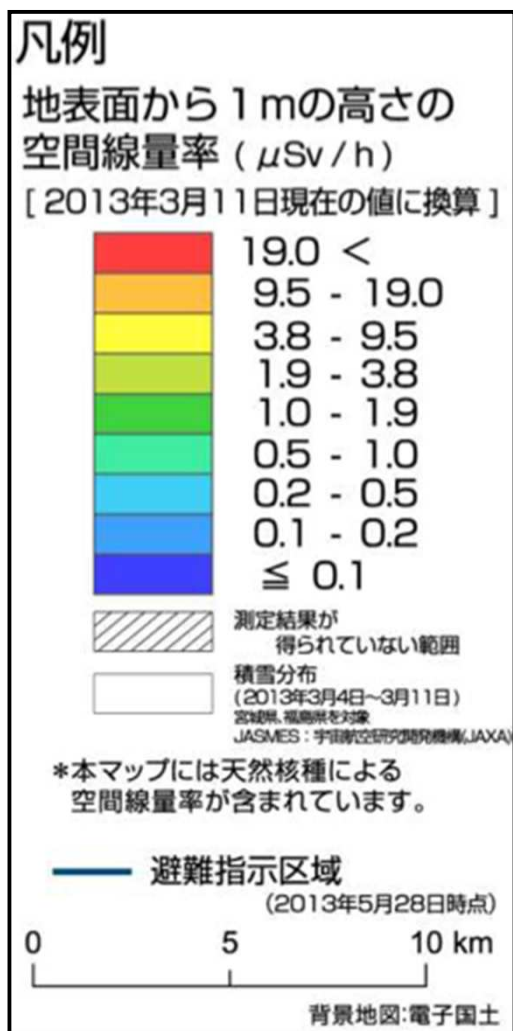
H24年度 4 月 福島県「飯舘村 復興対策課」へ

- ・ 農地除染技術開発、除染後農地の復旧
- ・ 焼却施設の検討、立地に対する地元説明
- ・ リスクコミュニケーション
- ・ 太陽光発電事業の計画
- ・ 住民説明会や懇談会など
- ・ 全国で風評被害対策セミナー

説明会の様子

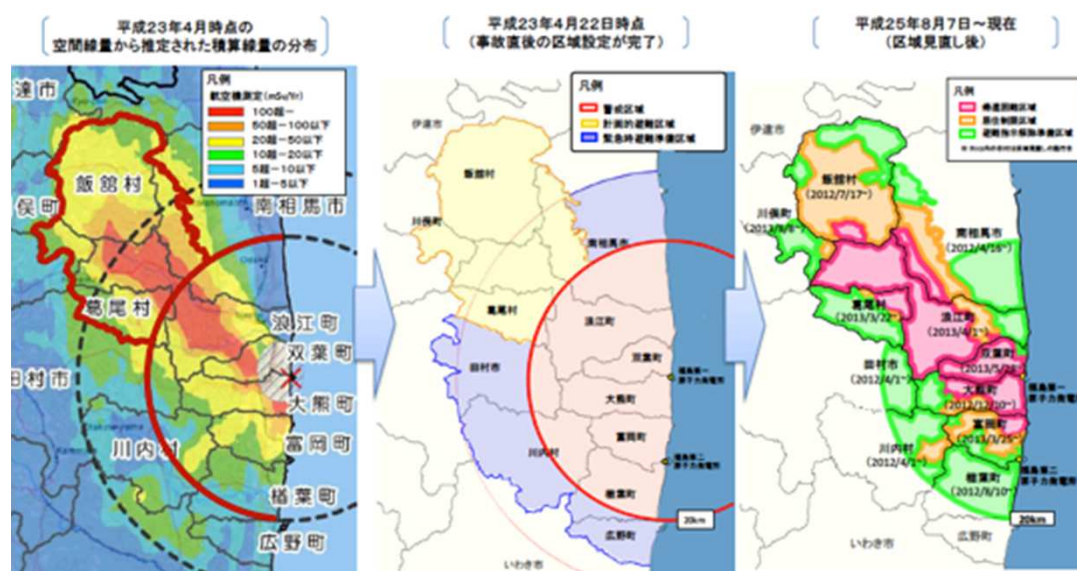


福島第1原発から放射性物質の広がり



2013年3月11日公表 航空モニタリング汚染マップ

避難指示区域の見直し及び解除



避難指示解除準備区域：

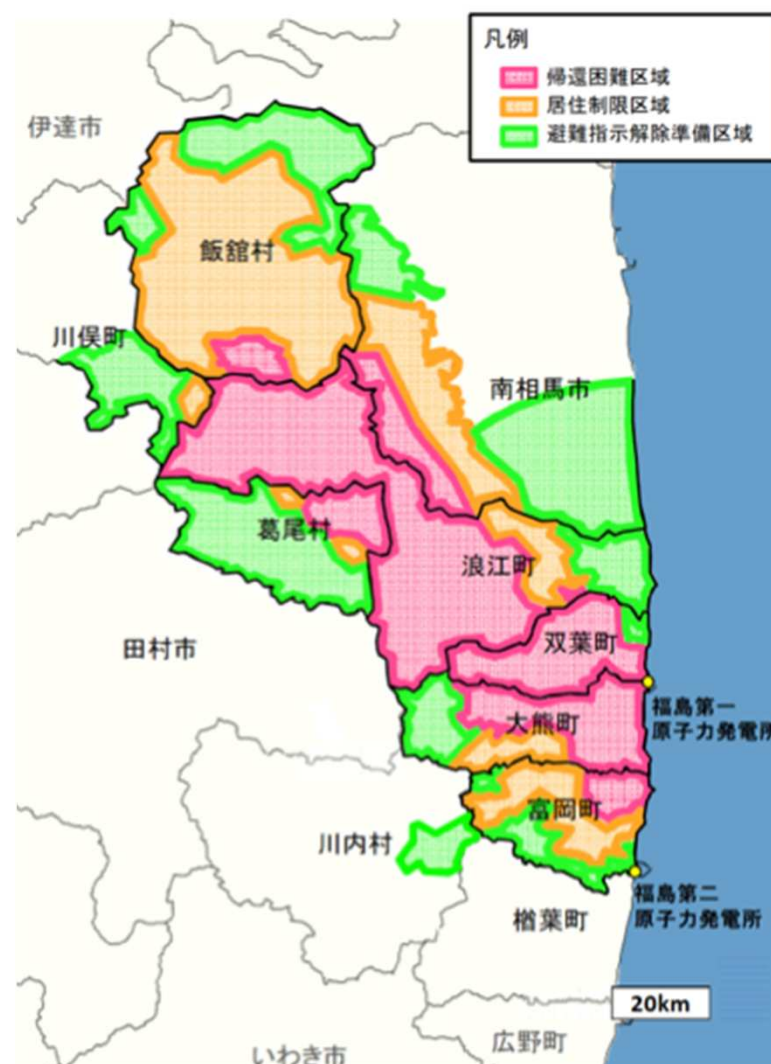
年間積算線量20ミリシーベルト以下となることが確認であることが確認された地域

居住制限区域：

年間積算線量が20ミリシーベルトを超えるおそれがあり、住民の被ばく線量を低減する観点から引き続き避難の継続を求める地域

帰還困難区域：

5年間を経過してもなお、年間積算線量が20ミリシーベルトを下回らないおそれのある、現時点で年間積算線量が50ミリシーベルト超の地域



住民に正確に理解をしていただけない放射性物質

住民には正しく理解されていない

放射性物質とは放射線を出す物質のこと。

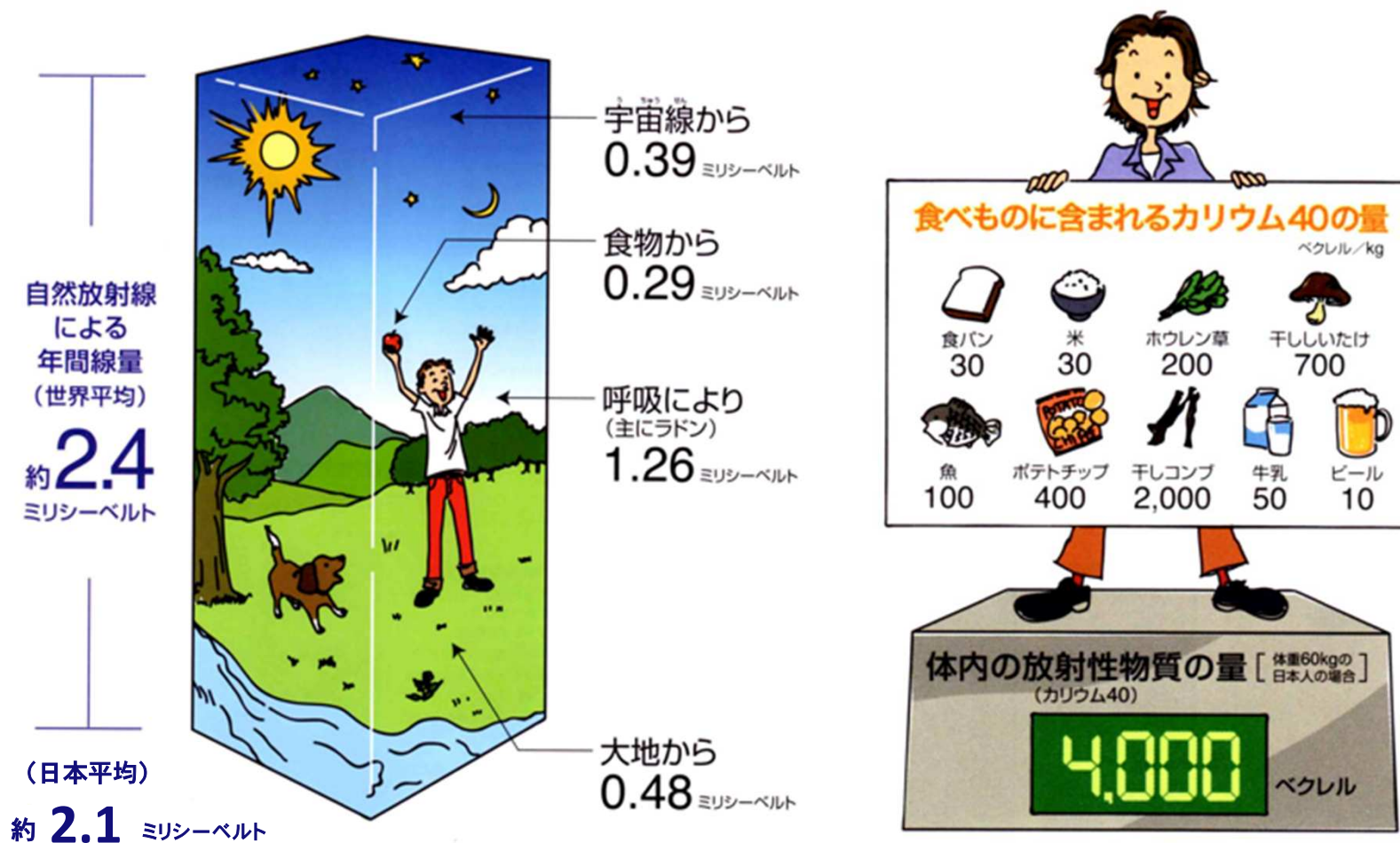
放射線とは放射性物質からでる見えない線。

放射能とは放射線を出す能力のこと。

安全と安心が違った感覚となる難しい課題。

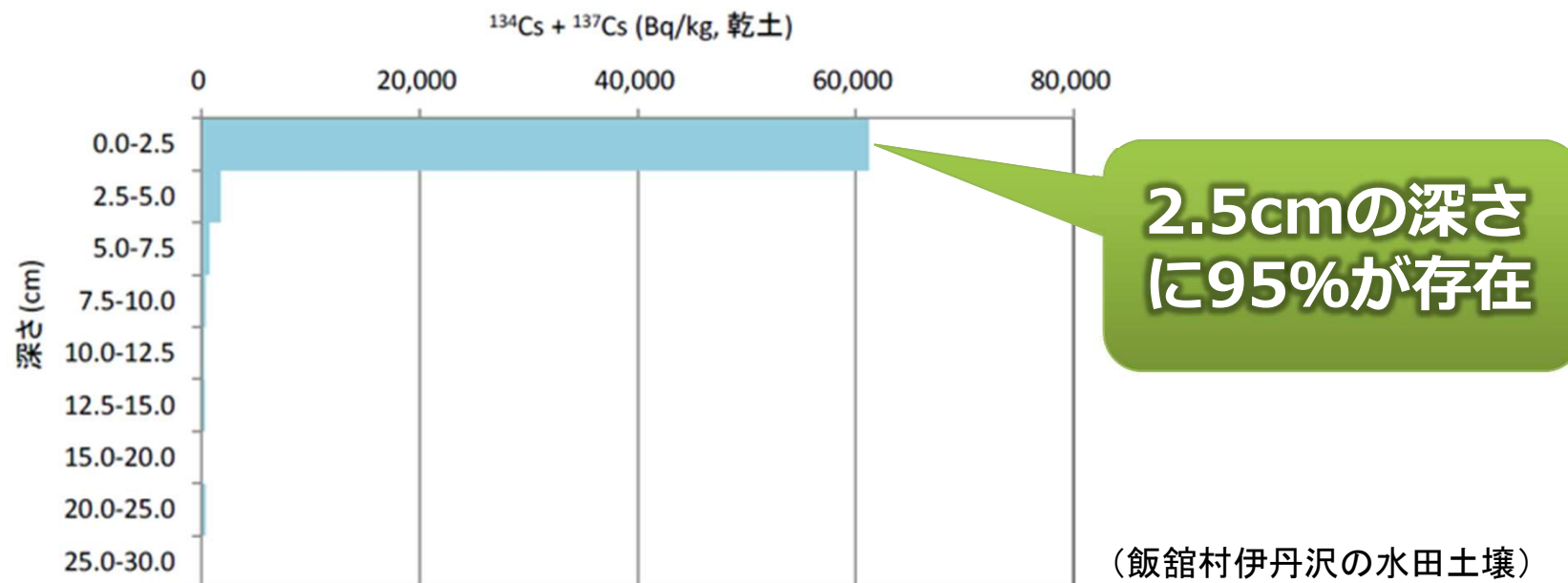
放射線の人体への影響

もともとある自然放射線から受ける線量



農地土壌中の放射性物質の分布

耕していない農地土壌の深さ別の放射性セシウム濃度
(耕起している場合やイノシシ被害がある場合はこの限りではない)



試料深さ	国際土壌学会法による 粒径区分		組成割合 (%)	Bq/kg(各 組成)	Bq/試料 全体	Bq 割合 (%)
0-2.5cm	粘土	~2 μm	4.8	179,100	8,600	12
	シルト	20~2 μm	29.6	106,300	31,500	42
	細砂	200~20 μm	45.2	66,600	30,100	40
	粗砂	2mm~200 μm	20.4	22,200	4,500	6

粘土やシルトなど細かい
粒子に放射性セシウムが
多く結合